

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27 年 8 月 18 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100256		
法人名	医療法人 好縁会		
事業所名	グループホームふれあい戸坂		
所在地	広島県広島市戸坂大上3丁目2-30 (電話) (082) 229-2822		
自己評価作成日	平成26年6月30日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490100256-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490100256-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成27年8月7日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

人として当たり前の生活（食事は口から摂取、排泄はトイレで行う、お風呂は湯船に浸かる）を援助すると共にその人らしさの実現に向けて、私たちと同じ生活者として向き合い、その人が生活の主役、人生の主役になって頂ける様、生活の再建を目指し、支援しております。また、人間学、生理学にかなった「自立支援の介護」を目標とし、最期まで可能な限りその人らしく過ごして頂ける様、日々努めています。そして、ご利用者と共に町内行事に参加させて頂くことで、地域住民の方との交流を図り、地域に開かれた事業所作りにも力を入れています。母体がクリニックということもあり、日々の健康管理や急変時の対応も、医師・看護師と連携を密に行うことが可能なので、安心して生活して頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

地域に溶け込む様に建てられているグループホームふれあい戸坂は、印象に残ったのは管理者及び職員の対応がとても良く、介護専門職員らしくベテラン、新人共に心優しく行き届いた心配りが感じられた。日々のケアサービスに於いても、法人が掲げた行動指針である十ヵ条を常に実践し、支援しているのではなく共に生活している様に、自然に自由に暮らせる大切さを目標に取り組んでいる。又地域との交流もスムーズに行われ、しっかりした信頼関係が構築されているように見受けられる。近隣のきつつき作業所や社会福祉法人かきつばた福寿会、地域住民と共に運営推進会議を通じて、祭り「福祉のひろば」を開催し10mの巻きずしにチャレンジする等、屋台も多く出て、数百人の参加者と交流する等、社会貢献も果たしながらホーム利用者と共に楽しく暮らしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人理念に基づき、行動指針となる「生活作り10ヵ条」を毎朝の朝礼時に復唱している。そして、その言葉の意味を全職員が理解し、実践する為、管理者やリーダーが中心となり、周知徹底に努めている。	理念である「生活作り」は復唱のみに留まらず、十ヵ条に分け普通に生活する事を目指し、活動座位や足の裏をしっかり床につけ身体を支える支援をしたり、一人ひとりに合ったイスやテーブル等人間工学に基づいて別注家具を使用している。現在は一人もオムツ交換は必要としない等理念に基づき職員は取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	日常的にはホーム周辺の掃除や散歩の際、地域住民とのコミュニケーションを図り、地域行事への参加や、自分達の主催する行事へ招待する等、積極的な交流を行っている。町内会にも加入し、地域の一員として交流を行っている。	地域の老人会・町内会・子供会・女性会等協力的で、これは日々ホーム職員の努力の賜物と感じられる。日常的には町内清掃や公民館での折り紙サークルで交流したり、町内のそうめん流しや盆踊り大会等には主体的に関わっている。又管理者は学区の盆踊り、年始互礼会に来賓として参加する等地域の中に溶け込んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	専門的な認知症ケアについては常に向上心を持ち、地域の方から電話や訪問にて相談を受けた時は、誠意を持って対応している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議において、ご利用者の生活状況報告や取り組んでいるケア実践等の報告を行い、また、参加者からも事業所に対する意見や提案を頂き、双方向のやりとりを行った結果をサービスに反映している。	会議には、家族代表、町内会長、地域包括支援センター、きつつき作業所・福寿苑の関係者等が参加し報告や話し合いを行っている。会議を通じてイベント「福祉のひろば」の開催を立案し、地域と共に手を携えて実践に取り組まれている。又会議を通じて消費者被害に合わない様、町内にポスター配布を行う取組みがされている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議への定期参加を促している。運営推進会議の報告にて事業所の取組み、実践を伝えている。	市町担当との連携は、運営推進会議等の出席を呼びかけ参加を促している。運営推進会議の結果を報告する等協力関係が築けるよう取り組まれている。	市町との連携は、今後会議の出席の呼びかけに留まらず、勉強会の講師として参加要請を行なう等、継続的な声かけをし、協力関係を密にする更なる取り組みに期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	法人内外の身体拘束に関する研修に参加することで理解を深めると共に、事業所内において委員会を設置し、広く普及に努めている。	ホームが掲げる理念に基づき、生活する上で自由に普通に行動出来るよう、朝7時半から夜8時半までは玄関も含め施錠せず、職員がしっかり見守りながら如何なる拘束も行わないようしっかり支援されている。	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	法人内外の虐待防止に関する研修に参加することで理解を深めると共に、事業所内において委員会を設置し、広く普及に努めている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	外部研修に参加することで知識を深め、資料の回覧及び配布により、各職員が周知出来るよう努めている。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	重要事項説明書及び契約書を提示し、具体的に説明するよう努めている。ご利用者及びご家族等からの要望や疑問等については、可能な限り適切な対応に努めている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	年に2回家族会を開催している。家族よりの意見を伺う機会を設けるとともに、普段より面会等で来られた場合に、意見等あれば都度対応している。	家族会等での意見や要望を聞くだけでなく、個々の相談に対しても専門職としての意見や説明を行い共に考え、ケアプランに活かしながら今後の支援に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月、全体会議及びリーダー会議といった定例会議を開催し、意見交換の機会を確保している。	会議は意見や提案のみに留まらず、管理者は日々の運営をスムーズに行うために、残業しない就労に努めたり休憩時間を確保しながら日々のサービスの向上を目指している。又会議に出席できない職員には個々に対応しながら意見を聞く機会を設け反映させる努力がされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	業績考課表や職務チェックリストによる個々の職員の評価制度を設け、年に2回実施し、昇給等に反映させている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	筆記・実技試験を実施し、（マイスター制度）各職員の介護知識及び技術の把握を行っている。また、定期的な内部研修及びOJTにより、介護技術の向上に努めている。外部研修については、研修補助費という制度が利用できる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等に定期的に出向き、情報交換等により連携を図っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	初回面接時には、ご本人とのコミュニケーションに重点を置き、サービス利用に対する心情や意向を的確にお聴きするよう努めている。その際、担当者を定め、可能な限り同じ者が対応するよう心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	利用開始前より、ご利用者に関する要望や思いを丁寧に聞き取りすると共に、事業所のコンセプトを伝え、場合によっては、ご家族の協力を必要とすることがあることを理解して頂いている。そして、密な情報交換により、ご家族に安心して頂けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	面談や電話にての相談時には、ご本人やご家族等に今必要な支援を把握し、ご本人に合ったサービス利用の提供を支援できるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	一方的な介護ではなく、自立支援を念頭においた「共に行う」という意識の下、支援している。また、調理等の際に利用者より助言をいただく等「教えて頂く」という機会が沢山ある。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族の来所時には、気軽に情報交換ができるよう、普段から関係作りを大切にしている。また、個別の外出を計画し、家族にも協力して頂くことで、思い入れのある場所へ出向く等のプランを実行している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	随時面会を受け入れている。	ホームを核に、日常的に馴染みのある場所へ散歩に出掛けたり、非日常的な場所である公民館の折り紙サークルに出掛けたりしながら馴染みの関係づくりが出来るよう支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	関係性に配慮した席順にすることや、利用者同士での声の掛け合い、助け合いの関係作り（きっかけづくり）の為、職員が間を取り持つようにしている。また、可能な限り、毎日のアクティビティを1F・2Fの利用者全員で行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご家族が馴染みの利用者に会いに来られ、職員に近況報告して下さる等の交流がある。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の思いを把握し、生活に反映できるよう努めている。意思疎通が困難な方には人生史を深く掘り下げることでご本人の意向に沿えるよう努めている。	家族の協力の下、ホームで作成する「幸せづくり計画書」から利用者一人ひとりの生活歴を考慮し、職員が出来る事は積極的に支援する努力がされている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	1人ひとり「幸せ作り計画書」を作成し、その中で生活歴を深く掘り下げている。ご本人及びご家族からの聞き取りにより、生活リズムや嗜好に関すること等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日のバイタルチェックを行うと同時に身体・心身の様子を伺い、現状の把握に努めている。必要事項はケース記録に記録を記し、情報を共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>「幸せ作り計画書」を基に、ご本人、ご家族、職員でカンファレンスを行い、ケアプランを作成している。原則1ヶ月ごとにモニタリングを行い、ご家族の意見も反映しつつ、職員間で見直しを検討している。また、体調の急激な変化等あった場合は、随時見直しを行っている。</p>	<p>経営母体の法人教育研修部が「幸せ作り計画書」を考案し、メインテーマを整理し課題整頓、そして未来予想図と繋げ利用者一人ひとりに合った支援に努めている。計画書は定期的及び必要に応じて随時見直しを行いながら実施されている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ケース記録に詳しく記録している。さらに気をつけたい点を申し送りノート、ケアノートに記入し、全職員で情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>医師・看護師と連携し、必要に応じて支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>周辺の医療・消防・警察との連携を図り、安全で快適に暮らしていけるよう努めている。また、近隣の福祉施設と協同にて催しを実施する等の試みを行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>主治医はご本人・ご家族の希望を第一に治療方針等を決定し、スムーズな受診が出来るようご家族と情報交換を随時行っている。</p>	<p>ホームのかかりつけ医であるクリニックは経営母体である（医）好縁会の総合内科で、利用者は毎月往診を受けており理事長は認知症専門医で対応もスムーズに行われている。又、本人や家族が希望するかかりつけ医への受診支援を行い、情報を共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	法人内の訪問看護の看護師が、週1回来所し状態観察を行っている。また、治療・ケアの助言・指導を必要に応じて受けている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	当事業所は医療法人好縁会グループの一員であり、退院時の医療機関との協働はしっかりと行えている。加えて近隣の入院応需の病院（JR病院）とも医療連携の書面を交わしている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	終末期ケアについては「看取りに関する指針」の記載内容に基づき、体制は整っている。（実際に看取りケアを経験している）	看取りについては、契約を行う際に話し合い意向を把握している。重度化や終末期には、更に十分説明をしながら方針を共有し支援に取り組んでいる。又職員には研修を通して、共に支援出来る体制を確保する取り組みがされている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	年1回は消防署の方に依頼し、救急蘇生等の講習会を開催して頂き、職員が参加している。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	年に2回の防災訓練を実施している。地域防災については、物品や非常食を準備している。地域防災協定を結ぶよう努力している。	平素より、地域との協力体制は確保出来ており、消防訓練も行われ備蓄もホームで保管されている。現在、災害時の地域住民の見守り協力や風水害時の一人暮らし住民の避難場所としてホームを提供する等、地域防災協定に向け取り組みを進めている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者の尊厳を傷つけないよう十分配慮している。ケースファイル等も施錠できる収納庫で管理している。	書類の管理は行われている。利用者の誇りやプライバシー、又言葉かけは職員全員がしっかり理解・共有して対応している。廊下にあるトイレはカーテンを取り付け、介助中でも他から見えないよう細かい心配りが伺える。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	個々にあった方法で説明し、本人の意思を尊重している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1日のスケジュールにケアを合わせるのではなく、その日の利用者の状況や希望に合ったケアが出来るよう、柔軟な対応を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	希望者にはなじみの美容院に出掛けていただけるよう支援している。また、ご家族にご本人の好みの衣類を持っていただき、季節に合わせた洋服を着ていただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者や職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の献立に出来るだけご利用者の希望を取り入れ、食事を楽しみの一つとして提供できるよう支援している。また、盛り付け・配膳・下膳・片付け等出来る範囲で一緒に行っている。	テーブルとイスは利用者の体格に応じて高さの違ったものが配置され、テーブルは六角形でパーソナルエリアが守られており、安心して食事が出来る気遣いが感じられる。職員も共に同じ食事を食べながら、見守り支援している。食事内容は薄味だがしっかりした味付けで食事がすすむような工夫がされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>水分摂取については，1日1500CCを目標とし，場面毎での提供を心掛けている。食事についても，個別の食事形態等に配慮し，必要に応じて栄養補助食品を使用している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアを欠かさず行っている。訪問歯科の往診が必要な方はその都度、受診していただき、歯科医より指導を受けている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>トイレで気持ち良く排泄していただく為に，個別の排泄パターンを把握するよう努め、個々に合った排泄介助を行っている。</p>	<p>現在はオムツ交換を必要とする利用者はいない。トイレの位置も左右のマヒに合わせて設置される等、職員はホームの理念に沿って日常的に排泄の自立に向けた支援に取り組んでいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>適切な水分摂取、適度な運動、食材への配慮を日々心掛け、自然排便できるよう留意している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>全て希望に添えているわけではないが，可能な限りご利用者の要望を聞くよう努めている。また，負担なく，気持ちよく入っていただけるよう，ハード面の整備とスキルの確認を行っている。</p>	<p>入浴支援は，清潔保持だけが目的ではなく，気持ち良く入浴を楽しめるよう，個々に応じた誘導方法や心身の対応に配慮し行われている。職員は入浴シートを通じて，情報を共有しながら利用者一人ひとりに応じた入浴サービスを行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>体調に応じていつでも休息できるよう配慮し、午眠については夜間の睡眠の妨げにならないよう注意している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬リストは、職員がいつでも確認できる場所にファイルしている。症状の変化等が見られた場合には、速やかに医師・看護師に連絡を行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>洗濯・ゴミ捨て等を手伝っていただいている。可能な限り戸外に出ることを日課とし気分転換をしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>日々の散歩はその日の体調等を考慮して行っている。また、遠方へ出かける際には、ご家族をお誘いして協力を得ながら行っている。</p>	<p>日常的には、普段の生活の中で戸外に出たり、月に2～3回個別に近隣に買い物等に出掛ける支援を行っている。又利用者や家族の希望を踏まえ、遠方に出掛けられるような取り組みも積極的に行われている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>基本的に当ホームでは個人のお金は預かっていないが、本人が望む購入物で希望に沿う物があれば、ご家族に相談した上で「個人立替」という形を取っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話の取り次ぎや、手紙を書いていただくことを日常的に支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>室内に温度・湿度計を設置し管理を行い快適に過ごしていただける環境を作っている。リビング、玄関等には季節の花を飾り季節感を演出している。</p>	<p>玄関やドア、上下二つのユニットへの行き来は、自由に出入りしており、リビングにはその人に会ったソファが置かれ開放的で心地よく過ごせる配慮が感じられる。職員は一人ひとりの利用者を見守りながら、行動を束縛しないよう心掛けている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共用スペースには食卓用の椅子に加えて、ソファを置き、過ごしやすい場所になるよう配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居の際にご本人の使い慣れた家具等をお持ちいただき、可能な限り自宅に近い環境づくりに努めている。</p>	<p>利用者の個室は、自宅の部屋がそのまま有る様に、馴染みの家具や寝具等が配置されていて、一歩部屋に入ると家の匂いが感じられる落ち着いた環境が確保されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレや居室の位置が分かるように、大きく看板や目印をつけている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームふれあい戸坂

作成日 平成27年8月28日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	5	市町との連携について具体的な取り組みが行われておらず、実績もない。	市町との連携がとれ、協力関係が築けている。	運営推進会議の参加呼びかけに留まらず、勉強会の講師として参加要請を行い、会議出席につなげる。事業所の取り組みをりかしてもらい、協力関係を築く。	1年間
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。